



R コマンド

この章では、R で始まる Cisco NX-OS Routing Information Protocol (RIP) コマンドについて説明します。

redistribute (RIP)

別のルーティング ドメインからのルートを Routing Information Protocol (RIP) に再配布するには、**redistribute** コマンドを使用します。ルートの再配布をしないデフォルトの状態にシステムを戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

redistribute {**bgp** *id* | **direct** | **eigrp** *id* | **ospf** *id* | **static**} **route-map** *map-name*

構文の説明

bgp <i>id</i>	ボーダー ゲートウェイ プロトコル (BGP) からのルートを再配布します。 <i>id</i> は、自律システム番号です。2 バイト番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイト番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。
direct	直接接続されたルートだけからのルートを再配布します。
eigrp <i>id</i>	Enhanced GRP (EIGRP) からのルートを再配布します。 <i>id</i> は、ルートが再配布される EIGRP インスタンス名です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。
ospf <i>id</i>	OSPF プロトコルからのルートを再配布します。 <i>id</i> は、ルートが再配布される OSPF インスタンス名です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、ストリングとして内部に格納されます。
static	IP スタティック ルートからのルートを再配布します。
route-map <i>map-name</i>	ルート マップを関連付けて RIP の再配布ポリシーを設定します。

コマンド デフォルト

ルートの再配布はディセーブルです。

コマンド モード

ルータ アドレス ファミリ コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

Cisco NX-OS は、ルート マップを使用して再配布のルーティング情報をフィルタリングします。ルート マップには再配布ルートに使用される RIP メトリックを設定できます。RIP メトリックをルート マップで指定しなかった場合、Cisco NX-OS は再配布されるプロトコルまたは **default-metric** コマンドに基づいてメトリックを決定します。有効なメトリックを決定できない場合、Cisco NX-OS はルートを再配布しません。

例

次に、BGP ルートを RIP プロセスに再配布する例を示します。

```
switch(config)# router rip Enterprise
switch(config-router)# address-family ipv4 unicast
switch(config-router-af)# redistribute bgp 64496
switch(config-router-af)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
address-family	アドレスファミリー コンフィギュレーション モードに入ります。
default-information originate	RIP に再配布されるルートのデフォルト ルートを生成します。
default-metric	他のプロトコルから RIP に再配布されるルートのデフォルト メトリック値を設定します。
show ip rip	すべての RIP インスタンスの RIP 要約情報を表示します。

restart (RIP)

Routing Information Protocol (RIP) インスタンスを再起動し、関連付けられたすべてのネイバーを削除するには、**restart** コマンドを使用します。

restart eigrp instance-tag

構文の説明

<i>instance-tag</i>	RIP ルーティング インスタンスの名前。この名前には、最大 20 文字の英数字を指定できます。
---------------------	--

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、RIP インスタンスを再起動し、すべてのネイバーを削除する例を示します。

```
switch(config)# restart rip Enterprise
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。
show ip eigrp interfaces	EIGRP インターフェイスに関する情報を表示します。

router rip

Routing Information Protocol (RIP) ルーティング プロセスを設定するには、**router rip** コマンドを使用します。RIP ルーティング プロセスをオフにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
router rip instance-tag
```

```
no router rip
```

構文の説明

<i>instance-tag</i>	この RIP インスタンスの名前
---------------------	------------------

コマンド デフォルト

RIP ルーティング プロセスは定義されていません。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、RIP ルーティング プロセスを開始する例を示します。

```
switch(config)# router rip Enterprise
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip router rip	インターフェイスの RIP インスタンスを定義します。

■ router rip